

京都市 農林業だより

発行 京都市産業観光局農林振興室農政企画課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 電話 (075) 222-3351



森林インストラクターの説明を聞きながら森を歩く参加者たち



東山の国有林で7月21日(土)、第2回落落第忍者乱太郎「京都の森を守ろうウォーク」(京都市、京都伝統文化の森推進協議会、朝日新聞社、京都大阪森林管理事務所等が主催)を開催しました。

このイベントは、京都で拡大しているナラ枯れなど、森の現状を広く市民に知ってもらうため、昨年からの親子を対象に実施しているもので、今回は約180人の参加がありました。



シイの木を切り倒す現場を見学する参加者たち

第2回 落第忍者乱太郎 「京都の森を守ろうウォーク」を開催しました!!



家族であげ 節電キャンペーン in Kyoto

京北エコスタンプラリーを実施

青蓮院北隣の「あおくすの庭」をスタートした参加者たちは、森林インストラクターの説明を聞きながら、森の中を歩きました。途中、ヒノキの人工林に光を当てるため、大きくなりすぎたシイの木をチェーンソーで切り倒す実演も行われ、「木を切ることも」「森を守ることに繋がる」ということを参加者に理解していただくことができました。



全国で節電が要請されたこの夏、京都市でも様々な取組がなされ、市内における一日の使用電力量が、平成22年度比42%の削減(7月分)となるなど、昨夏を大きく上回る節電を達成することができました。

具体的には、7・8月の昼間の家庭での電力使用を抑えるとともに、新しい積極的な省エネ型ライフスタイルの定着を図るため、市の多くの施設で利用料の割引や集客イベントが行われました。

京北地域では、夏場の昼間の気温が市内中心部より約3℃低いことから、地域全体を「クールスポット」と位置付け、10箇所の施設を回るスタンプラリーが実施されました。

約1箇月半の間に、計1,885名の参加があり、そのうち5箇所以上を回られた648名の方には、商品券がプレゼントされました。



去る11月10日(土)伏見区中書島の伏見港公園において、平成24年度「京の農林秋まつり」が開催されました。

朝早くから開会を待ちわびた来場者が、地元産物を使った模擬店の手作りの味に舌鼓を打っていました。

また、旬の野菜や新米、木製品の販売コーナーや、趣向をこらした各種イベントコーナーも賑わいをみせていました。



爽やかな秋晴れ、木々の紅葉の下、約1万7千人の来場者が旬に酔い、農林業を身近に感じた催しとなりました。

京の農林秋まつり

開催

ふるさと森都市 フェスティバル

開催

平成24年度ふるさと森都市フェスティバルが、7月22日(日)左京区花脊の山村都市交流の森で開催されました。

当日は朝早くからたくさんの方々が来場し、木工教室や魚つかみなど左京区北部地域ならではの体験イベントを存分に楽しんでいました。



つかんだ魚は炭火焼きで

森都市ふるさと抽選

アンケート回答者や各種イベント参加者が応募できるこの抽選会では、松上げの招待券や地元飲食店の食事券など地域ならではの素敵な景品が多数用意され、会場は最後まで当選を待ち望む人たちが盛り上がりしました。



山味一休品評会

地域の家庭で昔から食べられている漬物や佃煮をはじめとする加工品が66点出品され試食審査が行われました。優秀賞として選ばれた作品16点と、昨年から連続受賞となった作品1点を特別賞として表彰しました。



林業退職金共済制度について 御確認ください

林業退職金共済制度に加入していたが退職金をまだ受け取っていない方や、以前林業の仕事をしていたが、ご自身が林業退職金共済制度へ加入していたか分からない方は、下記へ御連絡いただき、御相談ください。

問い合わせ先

独立行政法人

勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部

TEL 03-6731-2887

FAX 03-6731-2890

森林の管理について

道路や河川沿い、また宅地裏にある枯死木や倒木等については、強風や大雨などにより、思いもよらない事故等を引き起こす恐れがあります。
森林所有者の皆様におかれましては、十分御注意いただき、森林の適切な管理に努めていただきますようお願いいたします。

森林の土地の所有者届出制度の周知について

「市民しんぶん」などで既にお知らせしていますが、**売買や相続等により森林の土地を取得された方は、土地を取得してから90日以内に市町村長への届け出が必要で**す。

届け出先及びお問い合わせ先は、下記のとおりです。まずは、御連絡ください。

届出先及び問い合わせ先

●右京区京北地域を除く京都市内の森林の場合：京都市林業振興課 (TEL 222-3346)

●右京区京北地域の森林の場合：京北農林業振興センター (TEL 852-1817)

※ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届け出を提出している方は対象外です。

平成24年産 米穀の需給調整実施状況

平成24年産の水稻作付面積が確定しました。京都市では右表のとおり、配分された生産数量以下の水稻作付面積となりました。

	配分面積	作付面積	水稻作付率
京都市 (京北を除く)	11,457,780㎡	9,715,622㎡	85%
京 北	3,204,620㎡	3,200,958㎡	99%
合 計	14,662,400㎡	12,920,639㎡	88%

◇ 不作付地の改善計画について ...

平成23年度から本格実施されている農業者戸別所得補償制度ですが、申請者の所有水田に不作付地（自己保全、調整水田等）がある場合には、「不作付地の改善計画」を提出していただいています。

この書類には、その不作付地を何年後に、どのように改善するのかを記入していただいております。万一、改善達成予定年度の翌年までに作物の作付が確認できない場合には、作付困難農地とみなされ、今後永年的に戸別所得補償制度等の水田施策の対象から除外されることとなります。

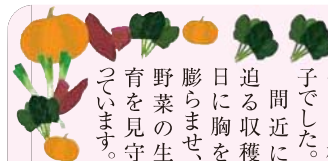
再度、達成予定年を確認のうえ、改善計画の実現に向けた取組をお願いします。

初開催！

京都「九条ねぎ」フェスティバル



「九条ねぎ」を初めてとする京野菜の魅力により多くの方々に知ってもらうため、京都「九条ねぎ」フェスティバルが10月20日（土）・21日（日）の2日間、下京区の梅小路公園で開催されました。
秋晴れの下、会場には両日合わせ約10万人もの来場者が訪れました。メインイベントの「九条ねぎラーメンバトル」では、全国から集まった17の有名ラーメン店が京都産「九条ねぎ」を使用した特製ラーメンで味を競ったほか、京野菜のPR販売コーナーは、新鮮な市内産の旬野菜を求める方々で賑わいました。



今年の「洛北ふれあい体験農場」には、37名の入園者が集い、京の伝統野菜を中心とした秋冬野菜の栽培体験に汗を流しています。
この体験農場を実施している「洛北農業クラブ」は、北区上賀茂と大宮地域の若手農業者で構成され、伝統ある北区農業の担い手グループとして、地域に根差したPR活動にも力を入れています。
入園者は、このクラブの指導の下、まず最初に鍬を手にとって畝を立て、金時を行いました。第3回目の作業では草引き作業を行い、農作物を育てることの大変さを実感しつつ、見違えるほど美しくなったほ場に、満足そうに様子を見ていました。

市民と農業をつなぐ 洛北ふれあい体験農場



生き物学習会の様子



参加者の様子

伏見区の久我地域は、都市部でありながら、今も田園環境が広がり、水路周辺にはまだまだ多くの生き物が生息しています。都市部では少なくなってしまうこの環境を、地域住民の方にさらに知っていただくために、洛西土地改良区が主体となって、平成21年度から生き物学習会を開催しています。
今年も、去る10月20日（土）に生き物学習会が開催されました。参加者は、地元小学生、久我食農ふれあいの杜体験農園の入園者を含め総勢50名を超え、年々賑やかさを増しています。
水路周辺ではメダカ、タナゴ、ドジョウ、カエル、カメなど多くの生き物が見つかり、参加した子供たちが元気いっぱい追いかけてたり、捕まえた子供もおり、多様な生き物が生息する環境が残されている、大切な場所であることを知ってもらいました。

久我地区 生き物学習会



水路内で捕獲した生き物